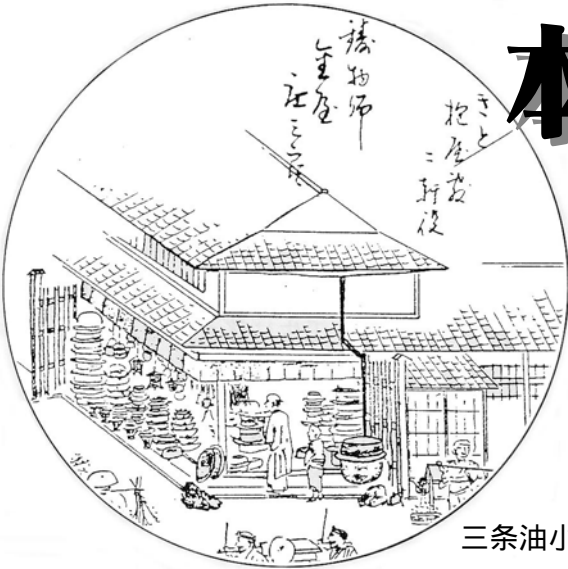


本能まちづくりニュース

第19号 平成15年11月20日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net
URL http://www.honnoh.net



三条油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

マンション実態調査 PARTII 現在集計中

本能夏まつり、区民運動会、その他の学区・町内の催しに、マンションに新たにお住まいになった方々もご参加いただき、活気溢れる行事となり、喜ばしいことです。まちづくり委員会の調査によりますと、夏まつりの抽選箱では244枚中66枚、抽選会参加者のほぼ4分の1は、マンションにお住まいの方でした。区民運動会は、昨年に引き続き堀川高校グラウンドをお借りしての開催で、競技の種類や売店ともに縮小されていますが、各町内の熱戦が繰り広げられ、新しい顔ぶれの出場で、順位の入替わりがあったようです。本能校跡地にグラウンドが完成した時には、また、町内総出で集い、老いも若きも、競技に、応援に、更に盛り上がることを期待します。

過日のマンション調査PART IIに、ご協力いただきありがとうございました。現在、鋭意集計に努めています。

まちづくり委員会では、各町内事情に合った、しかも新時代の、マンションとの付き合い方を検討しています。マンションあるいは共同住宅と一口にいても、種類は実に様々です。ファミリータイプのマンション1棟内でも、所帯数が多くなると、入居当初は隣り近所、どんな方がお住まいかお互い分からないものです。すぐには困難かもしれませんが、マンション内、さらに町内で、お互い顔が見えて、声かけできるお付き合いが始まることを、「本能学区のまちづくりのしおり」にも表明するように、本能学区では、望んでいます。安心・安全の住まいの基本だからです。

マンションが建った、町費を貰う、町内が潤う、の意識は、まだマンション自体が珍しかった一昔前のもの。町内会の人、新たにお住まいになった方々にお声かけをし、新たにお住まいになる方々も町内会に加入していただき、学区や町内行事に積極的にご参加・ご協力いただき、相互交流のある、ご近所づきあいができますように。まちづくり委員会では、自治連合会分担金等の問題を含め、アンケート調査の集計結果を自治連合会に報告し、検討していただきたいと思います。



みんなで観戦



区民運動会

兵庫県からのお客様



体験 摺箔（すりはく）

ことで生まれました。

午後 1 時前、仮設会議室で、岡山自治連合会会長と、西嶋委員長より、本能学区のあらましや、現在のまちの様子、京着物の流通および加工工程、工房ツアーの説明があった後、



そして、金彩袂紗の完成

10 月 19 日、茶道裏千家淡交会阪神支部武庫西支部青年部の 23 名が、「研修会」として、本能学区の工房見学と体験に来られました。

当青年部と本能学区とのご縁は、本年 1 月 25 日、大阪府立国際会議場で開催された「第 1 回 21 世紀関西市民フォーラム 『都市・自治の未来像』 ～よみがえれ関西～」において、本能まちづくり委員会委員長の西嶋氏が「染のまち本能の住民交流」の事例発表をした



体験 箔置

3 班に分かれて出発。今回ご協力いただいた

工房は、松本金彩（金彩加工）・中東盛染工場（京小紋・京友禅）・村田刺繍紋章（縫紋）・園染工場（浸染）の 4 軒で、約 3 時間半のツアーとなりました。ツアー終了後、再び会議室に集合。最初の班が松本金彩で体験した摺箔（すりはく）袂紗が仕上がり、それぞれの出来栄えに歓声が上がっていました。最後に代表者の佐藤浩史さんより、お礼の言葉があり、爽やかな秋の一日が終わりました。

茶道を嗜み、日頃着物を着る機会の多い人々と、着物の生産に携わる人々が出会い、お互いが直接結びつくきっかけとなり、新たなネットワークが築かれることを期待します。ご協力下さった工房の皆様方、ありがとうございました。

探訪 伝統文化祭「西陣 千両ヶ辻」



公開町家・店舗の目印は、色とりどりの糸巻き

9 月 23 日 西陣 千両ヶ辻に行ってきました。大宮通りの一条通以北、今出川以南は、江戸時代から糸商・織物商が軒をつらね、一日に千両に値する生糸・織物が商われたといわれる西陣織の中心地だったそうです。この通りで今年初めて、清明神社のお祭りにあわせて、「伝統文化祭」が催されました。清明祭りの行列が通り、人出も多く、賑やかでした。わずか 300 m ほどの町内で、11 軒の町家公開、コレクション・芸術作品の展示、織工房での実演、和装雑貨の展示販売・喫茶処等 25 軒もの催しがあり、地域の人々の熱意と底力を感じました。町家の奥座敷まで通していただいて、しっとりしたお庭を拝見し、通り抜ける涼風を体感したり、西陣織の様々な技法を実演をまじえて解説していただき、見事な完成品を見て、ため息をついたりでした。そこここにお店があり、ご近所の方の「今日は、破格値やなあ。赤字にならんように。」という言葉につられて、同じ京都に住んでいながら、お土産をあれこれ買ってしまい、さすが千両箱の飛び交う商い上手な町だと思いました。

(N村)



賑わう千両ヶ辻

工房体験ツアーに参加して・・・

》》》 当日の感想 《《《

◇本日、体験ツアーに参加させて頂き、ありがとうございました。

下見の際、西嶋さんにお話を伺った時から楽しみにしていた“金彩加工”のみならず、すべての工房が、大変興味深く楽しかったです。皆様、懇切丁寧な説明をして下さったので、私達は期待以上の体験ができたこと、非常に満足できました。着物に対する興味も深まりましたし、勉強になりました。私自身は20代半ばなので、着物についての知識も少なく、何も分からない状態で来ましたが、個人的にも、もっといろいろ



工房ツアーの説明風景

んなことを知りたいと思わせていただけるツアーでした。

今後も、いろいろな活動をして頂き、私達の興味をもっと高めて頂けると嬉しいです。また機会があれば、是非参加させて下さい。

◇私は着物が大好きなので、今日の催しをとっても楽しみに参加させていただきました。

ふだん、デパートや呉服屋さんでは、出来上がった品物しか見たことがありません。今日は四つの工房を回らせていただいて、どちら

らでも丁寧な説明をいただき、体験させていただいて、着物というものが、今までよりずっと身近に感じられました。普通なら入らせていただくことができないようなお仕事場兼お住まいに入れていただいて、着物が生まれる過程が少しわかった気がします。

正直言って、これまで「本能」という、まちの名前も知りませんでした。「本能」の皆様、ありがとうございました。

◇京のまちの伝統美がつくられていく工程を目の当たりに見て、時代とともにかかえる問題と、雰囲気がよくわかってきたような感じがします。現代におけるものづくりの理想のかたちを模索していく過渡的な今において、うまくやると最も先進的なものづくりのかたちの模範になるような気がします。着物を愛するものにとって応援をしたいと思います。ありがとうございました。

後日の便り

過日は、お忙しい中、裏千家淡交会武庫西青年部のために、本能の伝統をご案内いただきありがとうございました。皆大変勉強になったと喜んでます。早速家に帰って着物を出してみたら、染直しをと考えている人がいるようです。本能まちづくりの皆様のお蔭で「着物」を再確認し、茶道への気持ちも新たに変わったようです。厚く御礼申し上げます。今後、問い合わせの連絡があるかもしれませんが、その際はよろしくお願いいたします。

神戸市北区大沢町まちづくりアドバイザー 田路三貴子

本能の子どもたちが登場します

『お～い ニッポン 今日はどこん京都府』

来る11月23日(日) 10:00~19:00 BS第2放送(12:00~13:00 ニュースのため中断)

NHKでよく番組予告されています『お～い ニッポン』は、毎月1回、ひとつの都道府県に焦点をあて、その魅力を紹介する、8時間中継生放送です。11月は京都府で、このたび、本能まちづくり委員会に番組参加依頼があり、本能陸上クラブの協力を得て、本能の子どもたちが参加することになりました。既に2001年6月に、BS2『京都上がる下がる』で、「染のまち」として本能学区の油小路通りが、また元本能小学校会議室でのまちづくり委員会が放映されています。

中継のメイン会場となるのは平安神宮の境内で、『伝統を受け継ぐ子どもたちによる友禅』と題し、田畑喜八さんの下絵で、糊置きされた反物に、本能の子どもたち(小学校高学年)が彩色します。

10:00頃～ 彩色作業、13:00~14:00 糊おとし 17:00~19:00 ステージでの友禅披露、歌のショー参加 の様子が中継される予定です。是非ご覧下さい。

まちなかを歩く日には、みなさまのご協力ありがとうございました

本能まちづくり委員会の
次回開催は

平成15年12月1日(月)午後7時から
場所 本能会議室 当日飛び入り歓迎!!

子どもが犯罪にまきこまれないために

子どもが被害にあう時の特徴

一人でいる時の方が狙われやすい。

複数でいれば、一緒にいた子どもが周囲の大人に事件を知らせることができ、早めに救助できます。



言葉巧みに誘い出すため思わずついていってしまう。



「ゲームは好き?一緒にやろうよ」「迷子になった犬と一緒に探して」「友だちが病気だから助けに来て」など、子どもがつい気を許してしまう言葉で誘い出します。また、少しでも知っている人だと安心して誘いに乗ってしまいます。

犯罪に巻き込まれても、誰にも言わないことがある。

わいせつ事件は、恥ずかしさや恐怖、親にしかられるかもしれないなどといった理由で、被害にあっても黙っている子どもがいます。その時の被害もさることながら心的外傷後ストレス障害(PTSD)も心配です。同様に暴行や恐喝も「親に言ったらもっとヒドイ目にあわずぞ」と言われて、黙ったままになるケースもあります。



過日、本能生活安全会議が、高倉小学校PTAにお願いして実施しました、本能学区小学生対象の『こども防犯アンケート』にご協力下さり、ありがとうございました。

早速、85名の小学生から回答をいただきました。約半数の子どもたちは本能学区で「こわい思いはしたことがない」と答えていましたが、半数はやはり、恐怖感をもったことがあるようです。それは、登下校時・放課後とも、車両との接触・衝突の怖れや障害物のための歩きにくさ等の交通問題が圧倒的でしたが、中に10件ほど「道や公園での変な人との出会い」、また3件は「マンションのエレベーターの中でこわい思いをしたことがある」との回答がありました。これらの体験の中身は、具体的にはよくわからないとはいえ、シグナルです。こどもが犯罪にまきこまれる危険が全く無い、とは言いきれません。こどもたちを犯罪から守るために、大人は地域ぐるみで防犯意識を高めると同時に、保護者の皆さんは、お子様にも、以下に記した方法を参考に、「大切な自分の身は自分で守らなければならないこと」を、日頃からご指導下さるようお願いします。

お子さんが被害者になる犯罪のケースと防ぎ方

■クルマから声をかけて、近づいた瞬間にドアを開けて車内に引っ張り込まれる。

⇒クルマから声をかけられたら、両手を広げた幅以上の距離まで、クルマから離れる。

■自宅のカギを開けた瞬間、後ろから押され室内に押し込まれる。

⇒周囲を見回して、安全確認をしてからカギを開けることを習慣化する。

→普段から隣近所とのコミュニケーションをよくとり、子どもの安全について協力をお願いする。自宅周辺を整理して、死角をつくらないようにする。

■自転車を置こうとした時、いきなり後ろから抱きつかれる。

⇒自転車を置く前に周囲を見回す。万が一の場合は、大声を出して助けを求める。

→集合住宅の場合は、駐輪場、駐車場を明るくする、死角をつくらない、等の安全な環境をつくる。

■エレベーターに乗っている時に体を触れられた。エレベーターを降りたところ、腕を捕まれて踊り場へ連れて行かれる。

⇒エレベーターは、各階ボタンの押せる位置に立ち、壁を背にして乗る。エレベーターに不審な人と二人で乗らないようにする。万が一、一人乗っている時に不審な人が乗ってきたら、すぐ近くの階で降りるようにする。

本能自主防犯設立準備委員会 岡田 稔(五条防犯推進委員協議会副会長)

予告!!

総合防災訓練を行います! お越しく下さい

日時: 11月30日 午前9:30~11:30 場所: 本能公園 雨天の時は 本能仮設会議室

内容: 応急手当(特に身近にあるものを使って)

主催 本能自主防災会・中京消防署

協力 本能消防分団

編集後記 ◎信長・本能寺の変の話題ではさりながら、本能学区は、本来は地味で控えめな職人さんのまちであるのが、逆にテレビで紹介されたりして、結構注目されているのかもしれない。住んでいる者は、外からの情報で気付かされます。(N村)

◎第51回区民体育祭、今年はマンションからの参加が多く、オープン競技も大賑わいでした。心配された空模様も、天気予報の嬉しい誤算で、汗ばむ陽気のまさに「運動会日和」。例年、出場する競技の前後に顔出しする私でしたが、今年是一日中、堀川高校のグラウンドにおりました。「くもり時々雨」の天気予報を信じて、日焼け止めクリームも塗らずに——。おかげさまで、今でも左の手首には、時計の形がくっきりと残っています。YN